



# 2025年3月期 第2四半期（中間期） 業績レビューと見通し

2024年11月1日

会社概要	3
2025年3月期中間会計期間 業績レビュー	
1. 業績概要	5
2. 経営成績	6
3. 業種別売上比率（全社）	7
4. 業種別売上高（全社）	8
5. 業績推移（過去5年における中間会計期間）	
(1) 全社	9
(2) セグメント別業績推移	10
6. 貸借対照表	11
2025年3月期 業績見通し	
7. 対処すべき課題の進捗状況	13
8. 2025年3月期業績見通し	14

# 会社概要

会社名	株式会社 昭和システムエンジニアリング (Showa System Engineering Corporation)
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号
設立	1966年4月（昭和41年）
資本金	6億3,050万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報システムの開発</li><li>・ システムインテグレーション・サービス</li><li>・ 情報システムの開発・運用に関するコンサルティング</li><li>・ BPOサービス</li></ul>
社員数	477名（2024年10月1日現在）
発行済株式数	4,810,000株
株主数	2,784名（2024年9月30日現在）

2025年3月期中間会計期間  
業績レビュー

# 1. 業績概要

## 売上高

**4,032**百万円  
(前年同期：3,951百万円)

## 営業利益

**546**百万円  
(前年同期：599百万円)

## 中間純利益

**382**百万円  
(前年同期：420百万円)

## 経済動向

- わが国経済は、資源価格の高騰、物価上昇、国際的な情勢不安に加え、世界的な金融引き締めの影響など先行き不透明感はあるが、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかに景気回復の動きが続いている。

## 情報サービス産業の動向

- ビジネスモデルの変革を行うデジタル化の推進やシステム刷新、クラウドサービス等の投資意欲は引き続き高く、今後もシステム投資需要は拡大が見込まれる。

## 当社の動向

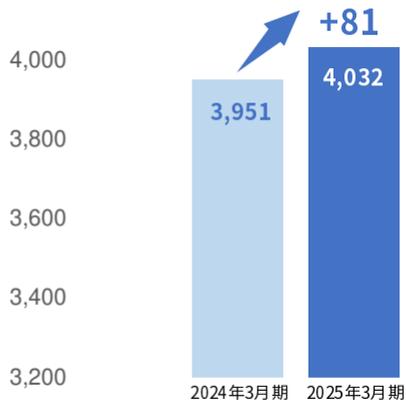
- 2022年4月からの中期経営計画「+transform 2<sup>nd</sup> Stage」の最終年度として引き続き4つの基本方針「①DXの推進、②既存ビジネス領域の維持・拡大、③社内デジタル基盤の強化、④人材確保と働き方改革」のもと、バイモーダルなDXカンパニー実現に向け積極的な事業活動を継続。
- 当中間会計期間の業績は、顧客のシステム投資需要が堅調に推移し、売上高4,032百万円、利益面においては成長投資を含む販管費の増加により、営業利益546百万円、経常利益555百万円、中間純利益382百万円となった。

# 2. 経営成績

- 顧客のシステム投資需要が堅調に推移し、売上高は微増
- 営業利益、中間純利益は人件費を含めた販管費等の増加に伴い微減

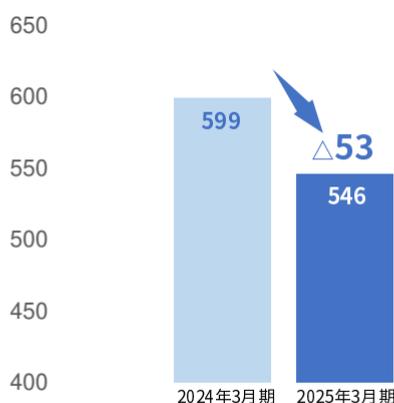
## ●売上高

(百万円)



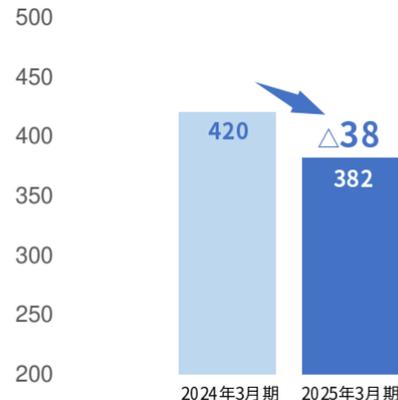
## ●営業利益

(百万円)



## ●中間純利益

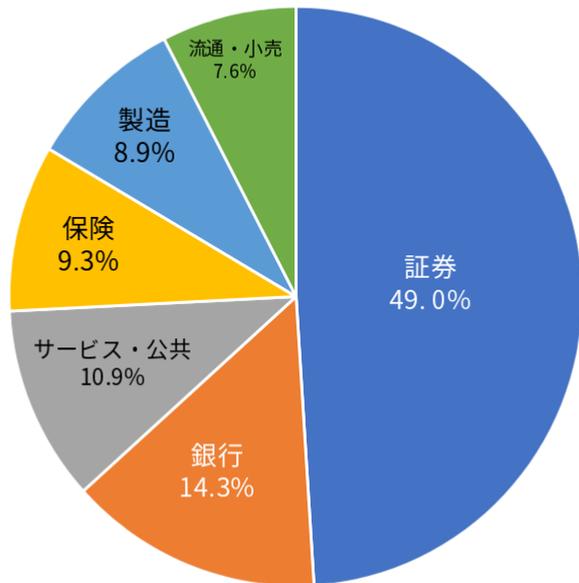
(百万円)



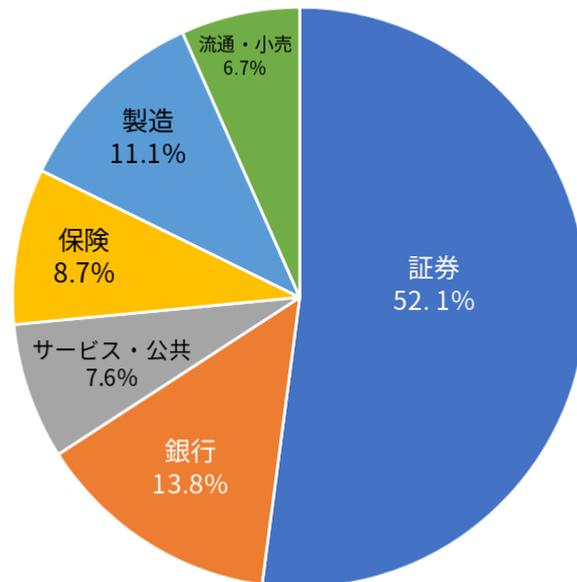
(百万円)	2024年 3月期	2025年 3月期	増減	
売上高	3,951	4,032	+81	+2%
営業利益	599	546	△53	△8.8%
営業利益率	15.2%	13.5%		△1.7pt
四半期純利益	420	382	△38	△9%

# 3. 業種別売上比率（全社）

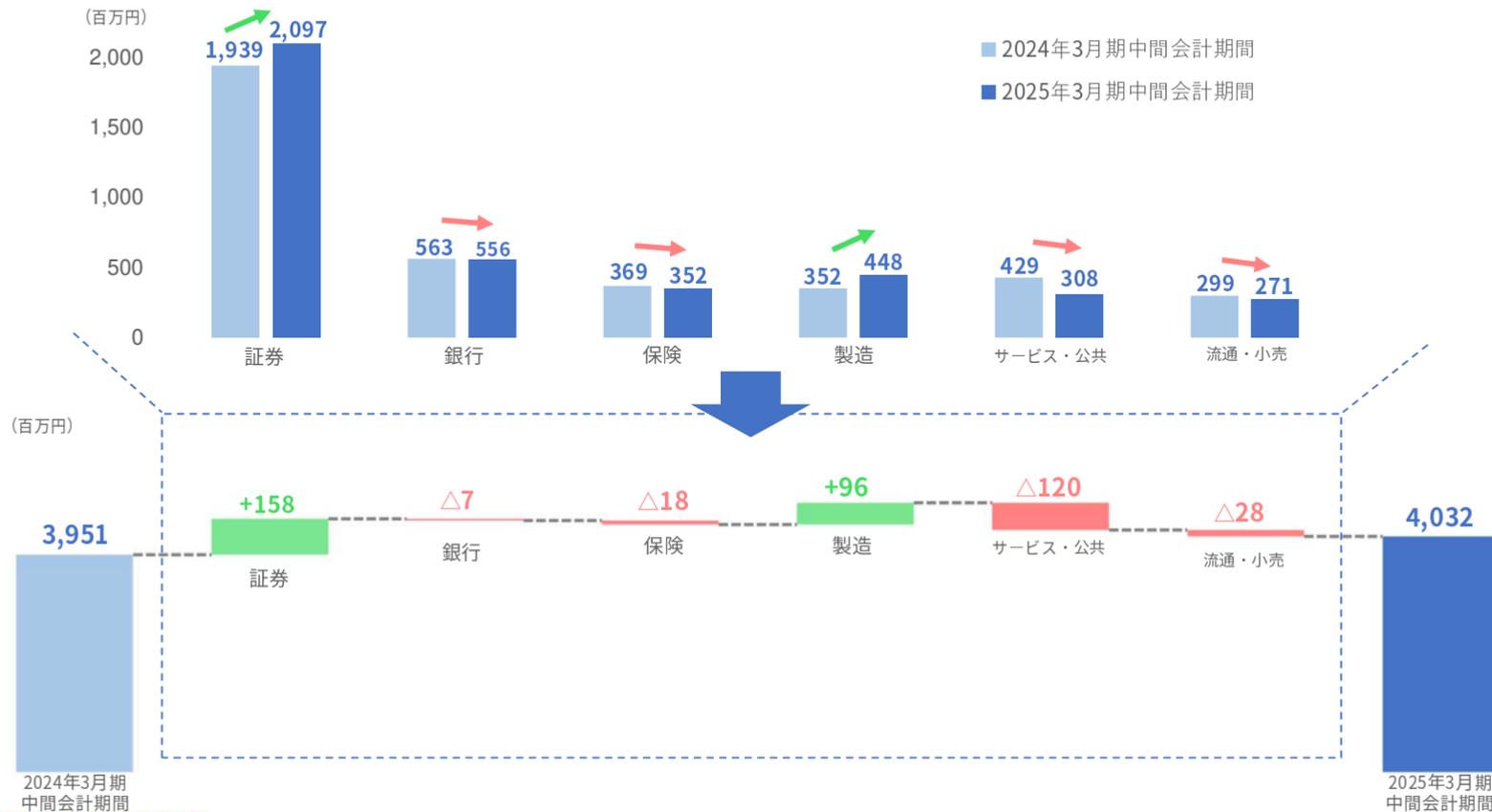
2024年3月期 中間会計期間



2025年3月期 中間会計期間



# 4. 業種別売上高 (全社)



# 5. 業績推移 (過去5年における中間会計期間)

## ● 過去5年を通じ堅実な業績で推移

### (1) 全社

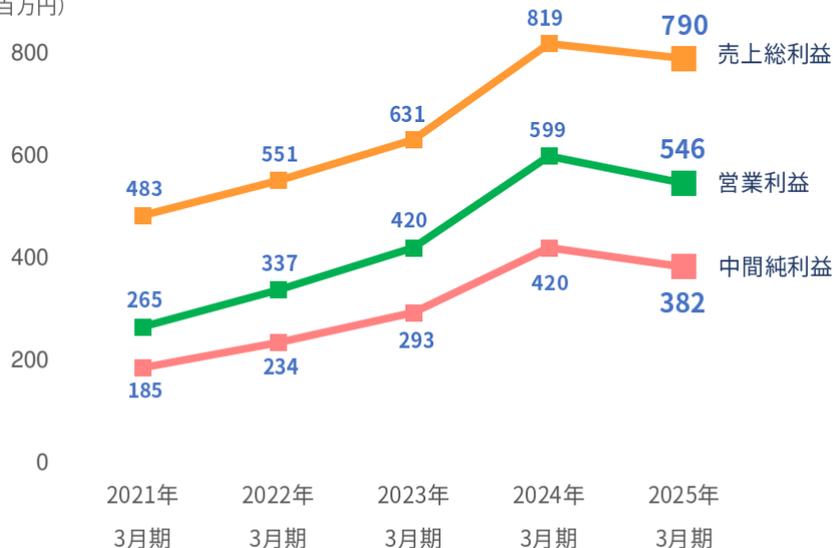
#### ● 売上高

(百万円)



#### ● 売上総利益／営業利益／中間純利益

(百万円)

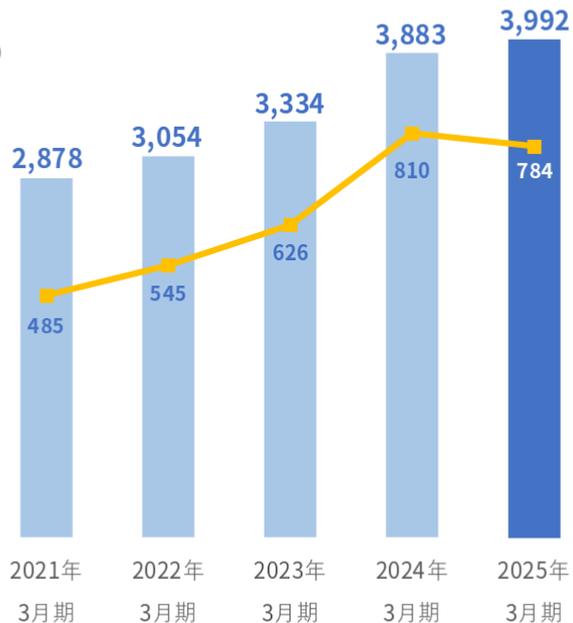


# 5. 業績推移 (過去5年における中間会計期間)

## (2) セグメント別業績推移

### ●ソフトウェア開発事業

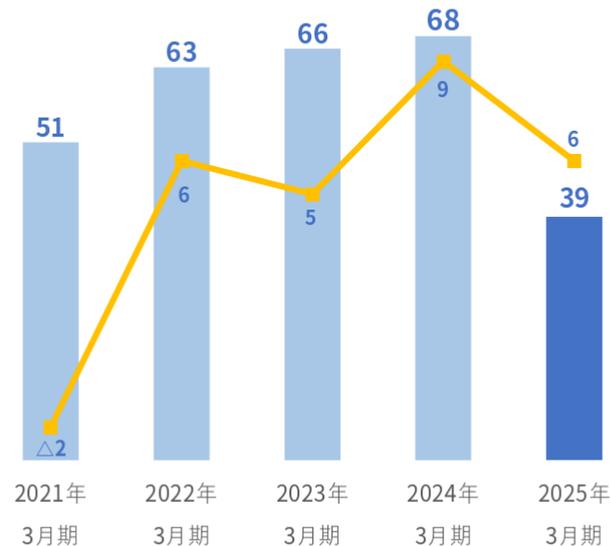
(百万円)



■ 売上    ■ 売上総利益

### ●BPO事業

(百万円)

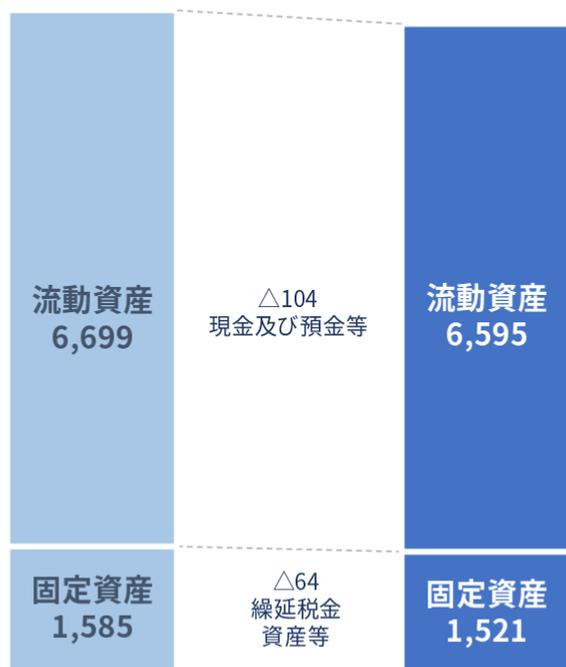


■ 売上    ■ 売上総利益

# 6. 貸借対照表

## ●資産の部

(百万円)

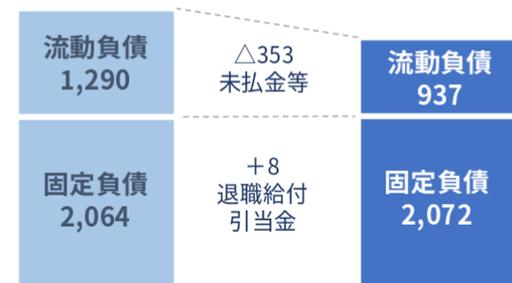


2024年3月期 期末

2025年3月期 中間期末

## ●負債の部

(百万円)

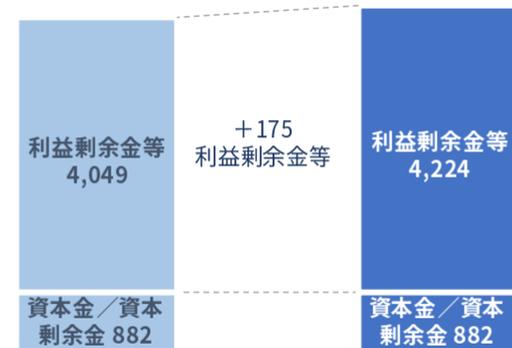


2024年3月期 期末

2025年3月期 中間期末

## ●純資産の部

(百万円)



2024年3月期 期末

2025年3月期 中間期末

2025年3月期

# 業績見通し

# 7. 対処すべき課題の進捗状況

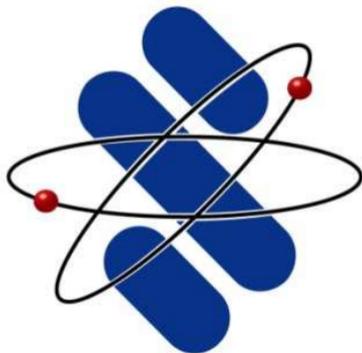
対処すべき課題	年度施策	上期進捗状況	下期見通
1. DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DX人材の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 選抜育成 (AI・クラウド技術者)</li> <li>- 社内DXリテラシー教育</li> </ul> </li> <li>● DX人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AI/データサイエンティスト育成は計画通り推移</li> <li>● 社内DXリテラシー教育</li> <li>● 選抜育成要員を中心にAI・クラウド分野への参画拡大</li> </ul>	○ →
2. 既存ビジネス領域の維持・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モード1ビジネスの安定的成長               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 培ったナレッジ・ノウハウを活かした提案活動</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 金融分野を中心に好調に推移</li> <li>● PM育成に向けた教育強化</li> <li>● 優良ビジネスパートナーとの連携強化</li> </ul>	◎ →
3. 社内デジタル基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社内業務のデジタルライゼーション推進による生産性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社内業務のデジタルライゼーション化を順次拡大</li> <li>● 導入済デジタルツールの利用範囲拡大</li> </ul>	○ →
4. 成長戦略としての人材確保と働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハイブリッド型採用活動による新卒採用者満足度の向上</li> <li>● シニア人材活躍促進</li> <li>● 多様な働き方の継続               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 在宅勤務制度</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対面とオンラインを組み合わせた採用活動</li> <li>● 新規リクルートサイトの導入</li> <li>● 得意分野を活かしたシニア人材の配置</li> <li>● コミュニケーション活性化のため、対面での教育、研修等の実施</li> </ul>	△ →

引き続き上記施策に注力

# 8. 2025年3月期業績見通し

公表値（5月13日）から変更はありません

(百万円)	(前年同期) 2024年3月期実績	2025年3月期通期予想	
		通期予想	前年同期比
売上高	7,960	8,200	+240
営業利益	908	920	+12
経常利益	923	932	+9
当期純利益	660	666	+6



 **株式会社 昭和システムエンジニアリング**

(本資料についてのご注意)

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は予想数値と異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。